

情報提供日	平成 30 年（2018 年）8 月 9 日（木）
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 泉川、高井 栽培・展示課 島田、山口、濱谷 TEL 082-922-3600

広島市植物公園のシンボルマークのモチーフ サギソウが開花中です

広島市植物公園では、サギソウの寄せ植えを展示しています。サギソウはランの一種ですが、豪華な洋ランとは異なり、日本に自生し夏の風情を感じる清楚な白い花です。植物公園のシンボルマークのモチーフにもなっているサギソウが群生している姿をご覧ください。

展示場所と株数：フクシア温室（手前階段と温室内）：約 700 株

ベゴニア温室：約 200 株

うらら池北岸：約 100 株

開花見ごろ：8 月上～中旬



サギソウの寄せ植え（以前の写真）



サギソウの花



広島市植物公園の
シンボルマーク

サギソウについて

サギソウ (*Pecteilis radiata*) は、日本原産のランの一種で、低地の湿地などに自生しています。和名は、花の形が、シラサギが羽を広げたように見えることにちなみます。1 年で最も暑くなる季節に、清楚な白い花を咲かせます。

広島県では、絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に指定されていて、野生株の採取は禁止されています。ただ、人工的に増やしたもののや斑入りの園芸品種が、球根や花付き苗の状態であ価に入手できるので、山野草としてよく栽培されています。

開園時間 午前 9 時から午後 4 時半まで（ただし、入園は午後 4 時まで）
入園料 大人 510 円、65 歳以上・高校生 170 円、中学生以下無料
休園日 毎週金曜日